

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市立休日急病診療所運営委員会
2 開催日時	平成29年1月17日(火) 午後2時00分から午後3時00分まで
3 開催場所	河内長野市立休日急病診療所 2階 集団指導室
4 会議の概要	(1) 委員長、副委員長の選任 (2) 患者統計資料報告について (3) 使用薬品について ① 単価契約分 ② 臨時購入分 (4) 障害児(者) 歯科診療事業の実施状況について (5) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 保健福祉部 健康推進課 (内線 146)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 平成28年度河内長野市立休日急病診療所 運営委員会 会議議事録

○日 時 平成29年1月17日(火) 午後2時00分から3時00分

○場 所 河内長野市立休日急病診療所 2階 集団指導室

### 〈案件〉

- (1) 委員長、副委員長の選任
- (2) 患者統計資料報告について
  - ① 月別患者数
  - ② 転送患者数・年末年始患者数
  - ③ 市内、市外別患者数
  - ④ 年齢別患者数・医師判断
  - ⑤ 診療日数、患者数
  - ⑥ インフルエンザ患者数
- (3) 使用薬品について
  - ① 単価契約分
  - ② 臨時購入分
- (4) 障害児(者) 歯科診療事業の実施状況について
  - ① 患者統計資料
  - ② 年齢別患者数
- (5) その他

### 〈出席者〉

外山 佳子 (休日急病診療所管理医師)  
中林 才治 (河内長野市医師会を代表する者)  
大谷 明久 (河内長野市医師会を代表する者)  
森川 栄司 (河内長野市医師会を代表する者)  
西川 義公 (河内長野市歯科医師会を代表する者)  
谷 英樹 (河内長野市歯科医師会を代表する者)  
築瀬 裕彦 (河内長野市薬剤師会を代表する者)  
船多 大 (河内長野市薬剤師会を代表する者)  
丹羽 実 (河内長野市議会を代表する者)  
浦山 宣之 (河内長野市議会を代表する者)

(1) 委員長、副委員長の選任

委員会一任で

委員長 外山 佳子

副委員長 中林 才治

副委員長 西川 義公

副委員長 築瀬 裕彦

に決定する。

(2) 患者統計資料報告について

① 月別患者数について

平成 28 年度（12 月末まで）患者数は 925 人、診療日数 92 日、1 日平均 10.1 人、内訳は内科 829 人、その他（皮膚科、耳鼻科に該当する場合）3 人、歯科 93 人

② 転送患者数・年末年始患者数について

平成 28 年度（12 月末まで）は 16 件、平成 27 年度は年間で 36 件。

今年度は、昨年度に比べ、内科で 155 人の増加、歯科で 12 人の減少、トータルで 143 人の増加となった。

③ 市内・市外別患者数について

患者数 925 人の内、91.0%が市内患者

④ 年齢別患者数・医師判断について

20 歳代が全体の 20.1%、30 歳代が 16.9%、40 歳代が 14.1%、50 歳代が 13.2%、10 歳代が 11.1%となっている。

医師判断については、受診者の 76.6%が「本日の受診がのぞましかった」、15.3%が「翌日でもよかった」、8.2%が「前日に受診すべきだった」となっている。

⑤ 診療日数、患者数等について

1 日平均の患者数について、平成 26 年度は 17.9 人、平成 27 年度は 13.8 人、平成 28 年度は 10.1 人（12 月末まで）

近隣の市町村については、隣接する富田林市、大阪狭山市、千早赤阪村からの患者が多く、また、他府県の患者については、5 月の連休、年末年始の帰省の際に病気にかかれ、休日急病診療所を利用される患者が多い。

⑥ インフルエンザ患者数について

平成 28 年度の 12 月末までの受診者について、インフルエンザ A 型が 52 人、インフルエンザ B 型が 24 人。簡易検査は、A 型 52 人、B 型 24 人、検査結果陰性 174 人の計 250 人に実施した。

(外山委員)

今年のインフルエンザの流行はどうか。

(事務局)

昨年度は2月から3月にかけてピークを迎えましたが、今年度は、既にインフルエンザが流行しています。

(浦山委員)

学校の学級閉鎖等はいかがですか。

(事務局)

まだ多くはありませんが、これから多くなると思います。

(2) 使用薬品について

① 単価契約分について

平成28年度の休日急病診療所の使用薬剤として単価契約をしている薬剤は142品目。

② 臨時購入分について

平成28年度の休日急病診療所の使用薬剤として臨時購入をした薬剤は11品目。

(事務局)

資料2-1の31番インフルエンザ検査薬のイムノエースについて、担当の営業から判定時間が短縮できるアルソニックFLUへの変更を提案されています。ご審議をお願いします。

(外山委員)

インフルエンザ検査薬について、判定時間、購入金額はいかがでしょう。

(事務局)

判定時間は、8分程度から5分程度に短縮となります。購入金額は、イムノエースと変わらないと聞いております。

(外山委員)

このインフルエンザ検査薬は、試していただいたのですか。

(事務局)

昨年、看護師に試していただき、判定時間は短くなり、効果はイムノエースと変わらなと聞いております。

(外山委員)

購入で良いと思うので、また経過報告をお願いします。

(大谷委員)

不具合等があれば、医師会から通知させていただきます。

(外山委員)

網掛けの部分は、未開封のまま廃棄ということですが、これについては、どうしていきましようか。

(中林委員)

エホチール錠5mg、ケンエーG浣腸(50%30ml 20入)は削除しても良いではないでしょうか。

(全委員)

2品目について削除する。

(外山委員)

単価契約表にある、ケーパインが休日急病診療所には、ありませんでした。

(築瀬委員)

ケーパインは、薬局管理ではないので、処置室の管理ではないですか。

(事務局)

処置室管理の分について、看護師に確認します。

(森川委員)

23番のエンピナスP18000について、薬価修正ですか。

(築瀬委員)

薬価修正ではなく、薬価削除となりますので、単価契約表からの削除となります。

(外山委員)

薬局からの提案事項についてお願いします。

(船多委員)

プロチンシロップ3.3%について2017.3で経過措置が終了します。代替品は、ジェネリック薬品のサリパラ液(丸石製薬)になります。

ソリターT1号輸液200mL、ソリターT3号輸液200mL、ソリターT3号輸液500mLは、プラスチックボトルがプラスチックバッグに2017.4より変更となります。新規採用品目として、フロモックス100mgを提案します。

(外山委員)

フロモックスを追加するのであれば、トミロン錠を削除してはいかがでしょうか。

(船多委員)

トミロン錠が必要な患者の場合、似た成分のクラビット錠を使う先生が多いと思いますので、トミロン錠は削除が良いと思います。

(築瀬委員)

ケフラールカプセル250mgもあまり使用しないので、削除してはいかがでしょうか。

(西川委員)

ケフラールカプセルは、削除が良いと思います。

(中林委員)

セルシン注射液は使いますか。

(外山委員)

休診という立場から、セルシン注射液は、残しておいた方が良いと思います。

(築瀬委員)

歯科の小児用に昔は、サワシリン細粒がリストにありましたが、現在はありません。よく似た成分のセフゾン細粒を追加しては、どうですか。

(全委員)

セフゾン細粒は、追加する。

(外山委員)

まとめると、単価契約に追加するのは、

- ・フロモックス100mg
- ・セフゾン細粒

削除するのは、

- ・エホチール錠5mg
- ・エンピナーSP18000
- ・ケフラールカプセル250mg
- ・ケンエーG浣腸(50%30ml20入)
- ・トミロン錠50mg

となります。よろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(3) 障害児(者) 歯科診療事業の実施状況について

① 患者統計資料について

平成28年度の1日当たりの患者数は14人。

平成28年度(12月末まで)の患者数は474名、474名のうち261名(55.1%)が市内の方である。

② 年齢別患者数について

平成28年度は受診者の22.2%が30歳代の方、19.0%が40歳代の方、次に18.4%が10歳代の方となっている。

(西川委員)

南河内圏域障害児(者) 歯科診療実務者連絡会で、現在一か所である障害児(者) 歯科診療所(河内長野市)を北ブロックにもう一か所開設してほしいという要望を出したので、報告します。

(5) その他

特になし